

科目区分	専門教育科目	科目名	プレゼминаール		科目コード	18L795	担当者	濱口 なぎさ、武藤 玲路、森 弘行				
対象学生	ビジネス・医療秘書コース 1年生		学期区分	通年	単位数	1	担当形態	オムニバス				
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
							免許・資格要件					
科目の主題							学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
身近な地域の問題を発見し、それを解決するための筋道を定める能力を身につける。							1. 「 <b>尽心</b> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実主体行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	自ら課題を発見し、根拠に基づいた論理的思考で解決していく方法を見つけることができる						○	○	○	○	○	○
2.	自分の考えを明確に表現し、他者とのコミュニケーションを円滑に進めることができる						○	○	○	○	○	○
3.	PCソフトを活用し、効果的な情報発信ができる						○	○	○	○	○	○
4.							○	○	○	○	○	○
5.							成績評価の方法と割合					
授業方法							提出物（40%） 発表内容（40%） 受講態度（20%）					
学生による主体的・能動的な学修形態をとり、授業の時間は進捗状況の発表、作業の打ち合わせなどが中心で、それ以外の時間を調査・研究に充てる。												
準備学修							課題等への対応					
授業時での発表のために必要な準備、調査、研究を行う。学外の方々と交流する場や各地域で行われる行事等に積極的に参加し、課題を見つける。							定期的にプレゼンテーションの場を設け、自己評価、他者評価等を参考にフィードバックを行う。					
授業計画												
第1回	ガイダンス、調査・研究活動の方法											
第2回	地域の諸問題について専門家の意見を伺う(1) 国際交流・観光・まちづくりなど											
第3回	現地調査・情報収集・グループディスカッション											
第4回	現地調査・情報収集・グループディスカッション											
第5回	現地調査・情報収集・グループディスカッション											
第6回	現地調査・情報収集・グループディスカッション											
第7回	調査内容についてプレゼンテーションとフィードバック（専門家による講評など）											
第8回	地域の諸問題について専門家の意見を伺う(2) 高齢化社会 ※認知症サポーター養成講座											
第9回	現地調査・情報収集・グループディスカッション											
第10回	現地調査・情報収集・グループディスカッション											
第11回	現地調査・情報収集・グループディスカッション											
第12回	現地調査・情報収集・グループディスカッション											
第13回	調査内容についてプレゼンテーションとフィードバック（専門家による講評など）											
第14回	発展学習のテーマ設定・グループディスカッション											
第15回	発展学習のテーマ設定・グループディスカッション											
試験	定期試験を実施しない											
教科書	必要に応じてプリントを配布する				受講生へのメッセージ	プレゼминаールは「考える」「行動する」「発信する」ことを身につけ、2年次のゼミナールへとつなげる授業です。身近な地域の中から課題を探し、自ら解決策を考えることで社会の一員としての自分の立ち位置が見つかるかもしれません。						
参考書等	新聞、各地方自治体が発行する広報誌など											